

塩のふるさと海です。

海から取り出した塩は白い粒^{つぶ}。しょっぱいけどおいしい海のエキス。

塩を食べなければ人は生きていけない。命のみなもと。

そういえば命は海で生まれたのだった。

人の体のすみずみまで塩がいきわたっていなければなりません。

血液^{けつ えき からだじゅう}が体中に塩を運んでいます。

塩^{ふ そく}が不足すると人は元気がなくなってしまう。

これから働くぞ、これから勉強するぞ、そんな時に塩味^{しお あじ か}は欠かせないのです。

しょっぱい味はおいしさのかくし種^{だね}。

塩がなければどんな食べ物もおいしさがみんなかくれてしまうのです。

塩が入っていないお料理^{りょうり}なんてほとんどありません。

お塩^{しお}があって初めておいしさを感じることができます。

大事な塩^{おおむかし}を大昔からいろんな工夫^{くふう}を重ね海から取ってきました。

海から遠いところへは、どんな苦勞^{くろう}をしてでも運びました。

今は、海水の中の塩分^{えんぶん}だけを通す膜^{とおまく}（イオン膜^{まく}）を使って濃い塩水^{こしおみず}をつくり、5階^{かいだ}建てほどの高さがあるとんでもない大きな釜^{かま}で煮つめてつくっています。

人が生きていくために塩^{しお}がどうしても必要^{ひつよう}だから、

世界のどこの国も塩を手に入れるために大變な苦勞^{たいへんくろう}をしてきました。

その様子^{ようす}もこの本でわかるでしょう。